



SCHOOL GUIDE 2018

Chiben Gakuen Wakayama

Challenge, Chiben!

智辯学園和歌山中学校・高等学校

〒640-0392 和歌山県和歌山市冬野2066-1

Tel.073-479-2811 Fax.073-479-1190

<http://www.chiben.ac.jp/wakayama>

併設校 智辯学園和歌山小学校

智辯学園和歌山中学校 智辯学園和歌山高等学校



さらなる高みへ。 挑戦が始まる。

平成30年、智辯学園和歌山は創立40周年を迎えます。

本学園はこれまで、難関大学合格実績、野球部の甲子園出場回数などにおいて、
突出した結果を残してきました。しかし、私たちはまだまだ満足していません。

もっと高いレベルで人々の期待に応えるために、もっと生徒一人ひとりの可能性を広げるために、
これからも挑戦を続けていきます。ご期待ください。

明 朗
Cheerfulness

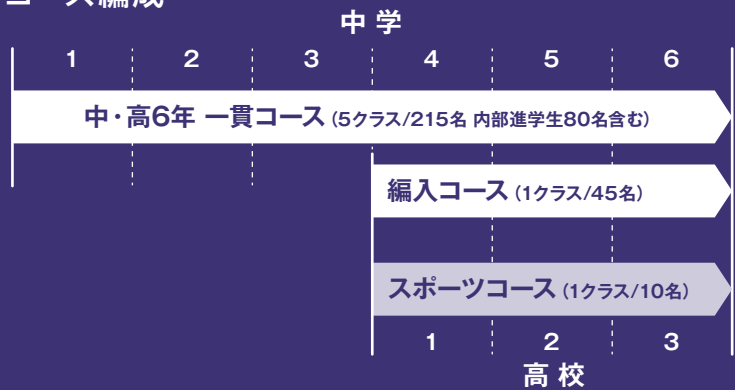


誠 実
Sincerity

Contents

教育の原点、教育目標	01-02	コース紹介Ⅰ	09-10
卒業生メッセージ	03-04	コース紹介Ⅱ	11-12
教育の特色Ⅰ	05-06	スクールライフ	13-14
教育の特色Ⅱ	07	スクールガイド	15-16
2つのコース	08	インフォメーション	17
		交通アクセス	18

コース編成



Message from board chairman

Challenge, Chiben!

教育の原点、教育目標

生徒を實の子どものように思いやり、愛情を持って接する、“愛のある教育”が教育の原点であると考えます。この原点に常に立ち返り、生徒一人ひとりを献身的に支え、“誠実・明朗”で心豊かな人物をはぐくむことが本学園の使命です。三十有余年前、和歌山の地に教育の場を開いて以来、こうした強い想いは変わることなく、具体的な成果をあげています。確かな実績をもとに、今後も教育に取り組み、生徒全員のさらなる能力向上をかなえたいと願っています。

理事長 高等学校長

藤田 清司



東京大学
理科Ⅱ類

米原克磨さん
2016年卒



智辯学園で過ごした6年間で様々な人に出会い、数え切れないほどの貴重な経験をしました。中学ではバスケットボール部に、高校は科学部と美術部に所属し、勉強以外にも様々なことを学びました。また、アメリカへの短期留学、「科学の甲子園」や「生物学オリンピック」への出場は、学ぶ楽しさや喜びを知るきっかけにもなりました。部活動や学校行事をはじめ、それら全ての体験の上に今の自分がいると思うと学園生活が一層輝いて感じられます。受験を乗り越えられたのも、先生方の熱心なご指導のもと、志の高い仲間たちと切磋琢磨してきたおかげです。この学園の生徒でいられたことを誇りに思い、これからも目標に向かって進んでいきます。

東京大学
文科Ⅲ類

石井理瑚さん
2016年卒



東京大学には全国から集まる多才な仲間との出会いがあります。大学生活は新たな出会いの連続ですが、自己紹介をするたびに智辯和歌山の知名度の高さを痛感します。名前より先に出身校を覚えてもらえることもしばしばです。これは、野球の強豪校としての評判だけでなく、諸先輩方がさまざまな分野で活躍し、築いてこられた伝統があるからだと思います。私は今、アメリカンフットボール部のトレーナーとして選手と共にチーム一丸となって日本一をめざしています。高い志を抱き、チームワークを大切にできることが、智辯学園で学んだ私の誇りだと感じています。

東京大学
理科Ⅲ類

炭谷純希さん
2016年卒



私は中学から智辯学園に入学しましたが、先生方の助言を守り、学校の授業を軸とした学習に励むことで中学生のときに自律的な学習スタイルを身につけることができました。周りにも意識が高く優秀な友人が多く、彼らから良い刺激を受けて自分も高い志を持つことができました。他にも先生方が進んで補習をしてくださるなど、この学園には大学受験に向けた絶好の環境が整っています。一方、宗教の授業や感謝祭などでは、感性を育み人間的にも成長することができました。6年間を通して得たことは大学生活でも役に立っています。これからもこの学園で学んだことを糧として医学の勉強に邁進していきたいと思っています。

京都大学
農学部
資源生物科学科

西田芽衣さん
2016年卒



智辯学園に入学した時、将来京都大学に入学できるとは夢にも思っていませんでした。そんな私が合格できた大きな要因に「環境」があると思います。高い目標に向かって、励まし合いながら、切磋琢磨して互いを高め合える仲間、そして親身に相談に乗ってくださる先生方がいたからこそ今の私があるのだと思っています。また私は中学・高校とプラスバンド部に所属し、クラブ活動に取り組むことで多くのことを経験し、学ぶことができました。現在は大学の授業だけでなく、部活動やアルバイトなど、充実した毎日を送っています。これからもこの学園で学んだこと、得たことを大切にし、感謝を忘れずに日々頑張っていきたいと思っています。

OB・OG MESSAGE

卒業生メッセージ

大学合格はゴールではなく、スタートに過ぎません。もっと先を見据えることが大切です。ここには、大学生や社会人として活躍する卒業生から寄せられたメッセージを掲載しています。これらを参考に、あなただけの未来を思い描いてください。

2017 (H29年度)
大学合格
実績

※文部科学省管轄外大学校
合格者も含む

国公立大学

- 東京大学 10名
- 京都大学 7名
- 大阪大学 21名
- 神戸大学 15名
- 国公立大学医学科※ 44名

国公立大学合計※
178人

私立大学

- 早稲田大学 17名
- 慶應義塾大学 16名
- 同志社大学 67名

私立大学合計※
412人

京都大学
法学部

粉川航平さん
2016年卒



智辯学園には、大学受験をするのにとても恵まれた環境があります。先生方は生徒一人ひとりに対し熱心に教えてくださり、質問にもいつも丁寧に答えてくださいました。そして、この学園だからこそ出会えた、高い目標に向かい共に努力できる仲間の存在は、受験を乗り越える上で何よりも強い支えになりました。志望校に現役で合格できたのは、この素晴らしい環境のおかげだと思っています。私は今、京都大学で学業に加えサークル活動やアルバイトなどで充実した毎日を過ごしていますが、智辯学園で出会えた友達との付き合いはいまだに深く続いています。

大阪大学
医学部
医学科

中森健人さん
2016年卒



私は12年間、智辯学園和歌山校に通わせてもらいました。この学校でひらがなから微積分まで何もかも教わりましたが、何よりも12年間、「人」に恵まれていたと思います。反省することや辛いこともありました。勉強だけではなく修学旅行やアメリカ留学、クラブ活動など、先生方や友達と共に過ごした時間が、今でも私に素晴らしい影響を与えてくれ、とても感謝しています。これから先もこの学校で過ごした経験が自分を支えてくれると思っています。

一橋大学
法学部

藤井理紗さん
2016年卒



智辯学園で過ごした12年間は人との出会いに恵まれたものでした。私が現在こうして第一志望の大学で学生生活を送ることができているのは、ひとえに友人、そして先生方のおかげです。高い目標に向かって共に頑張る友人や、親身に質問に答えてくださる先生方の存在が、長い学園生活において大きな支えとなりました。また勉強に限らず、部活動をはじめ、野球応援やアメリカへの短期留学といったさまざまな経験とそこでの出会いが、自分を人間的に成長させる機会を与えてくれたと思います。その経験を生かし、大学でもさまざまなことに挑戦していこうと日々努力しています。

和歌山県立
医科大学
医学部医学科

山家亮平さん
2016年卒



この学園でたくさんの素敵な人に出会いました。先生方、先輩方、友人たち、後輩たちなど、みんな個性豊かでいろいろなことに気づかされる毎日でした。多くの人と触れ合い、語り合う中で私の視野が広がり、成長できたと感じています。この学園で部活動や、生徒会活動、応援団などさまざまな経験をさせていただき、あっという間に充実した6年間が過ぎました。智辯学園で出会った人たちが経験してきたことは、私の一生の財産になると確信しています。

教育の特色 I

知力の 徹底的訓練を期す

授業時間	60分
年間 授業日数	約250日
週単位 (最高)	39時間

知力を磨くためには、知識を修得するだけでなく、それらを発展的に活用する体系的な思考力も身に付ける必要があります。本学園では1校時を60分とし、週単位時間数や年間授業日数も可能な限り確保。英語、数学、国語の基礎学力の習得に特に配意。さらに十分な時間をかけて授業を行うことで高度な内容にまで理解を深め、思考力・創造力を養います。これにより、生徒が望みうる最高の大学進学の実現をめざします。



智辯学園が目標とする「人」は

- 1 明朗で知性溢れる人
- 2 自己を確立しつつも社会性豊かな人
- 3 不屈の精神と使命感を持つ人
- 4 この世に生をうけた幸福を知る人

情感を はぐくむ教育

- 01 「宗教」の時間では、宗教的情操を養い、「人と心」の問題を研鑽する。
- 02 毎月1回「感謝祭」を行い、四恩（父母の恩、衆生の恩、三宝の恩、天地の恩）に感謝を捧げ、今後の努力と精進を誓う。
- 03 毎朝始業前に読経し、心を静め、決意新たに1日の学校生活を開始する。
- 04 あらゆる機会、あらゆる生活の場で、「情感をはぐくむ教育」を行い、感謝と奉仕のできる人間に成長するように努める。

教育の目的は人格の完成をめざすことであるため、「心」の教育は大変重要です。本学園では宗教的観点に立った“情感をはぐくむ教育”を実践し、美しいもの、すぐれたものに接して感動する心豊かな人間の育成を図っています。そのため、「宗教」を必修とし、履修を義務づけています。そのほか、毎日の読経や月一回の「感謝祭」など、あらゆる機会をとらえ、自分自身を見つめ直します。



教育の特色Ⅱ

三位一体の教育

本学園の教育は相互の信頼と扶助にもとづく努力と創造によって達成されるものと考えています。同じ志の下に集い、努力を惜しまず目標に挑戦する生徒と、本学園の教育理念に賛同し、我が子の成長を願い日々の教育実践を支える保護者、そしてその親の願いを叶えるべく、日々研鑽を積み、情熱をもって生徒に関わる教職員。三者の結束と連携が発揮されることで、本学園に求められるすべての希望と期待が充足されるものと確信しています。



国際人を育てる教育

国際的な教養と感性、国際平和をめざす強い意思は、これからの時代にますます重要になります。本学園では真の国際人としての成長をめざし、海外交流を重ねています。アメリカ・ワシントン、韓国・ソウル、オーストラリア・メルボルンにある姉妹校と交換留学を行っています。また、中学5年(高校2年)に実施される修学旅行では、平和教育の一環として韓国を訪れます。他国の同世代の若者との交流を通じて、世界平和の重要性の再認識と国際人としての資質を養います。



体験型学習を通して自主性・協調性を養う※

本学園の中学校では各学年でそれぞれ4～5日の野外研修を実施しています。中学1年では曾爾林間学校(国立曾爾青少年自然の家)を開催。これから共に勉学に励む仲間との協調性をはぐくみます。中学2年は三瓶林間学校(国立三瓶青少年交流の家)で団体登山などにチャレンジします。中学3年では一転して海をめざし、淡路臨海学校(国立淡路青少年交流の家)を経験します。野外研修は、雄大さと厳しさを含めて豊かな自然に親しみ、規律ある団体生活を通して、自主性や協調性、リーダーシップや適応力を養う貴重な機会です。

※中・高6年一貫コース



コース紹介Ⅰ

中・高6年 一貫コース

〔募集人員〕 3クラス 135名

□ 特長 01

**早期から大学入試を見据え
効率的なスケジュールで学ぶ。**

中学・高校の3・3制の分断システムから脱却し、中・高の学習内容を再編成することで、無用な足踏みや無理な疾走、無意味な重複を避けることができます。その結果、可能な部分をできるだけ進めたり、時間をかけるべきときはじっくり取り組んだりするなど、腰を据えての資質開発が可能となります。



□ 特長 02

**成長段階にふさわしい
人間教育で精神面を豊かに。**

思春期は精神的に繊細な時期。6年間を通して、一人ひとりに必要な安定した人間教育を可能とするのが6年一貫教育です。安定した環境で学ぶことは、学校離れを起こし、非行化に走りやすい中学・高校生の生活を正常な軌道に乗せる上からも重要なことと考えます。



**将来の夢は研究者。志の高い友人
たちと切磋琢磨する毎日です。**

この学園には難関大学に合格した先輩たちの実績が豊富にあり、私もそれらの大学を目標としているので入学を決めました。クラスには高い目標を持った友人が多く、互いを高め合うことができるので毎日が充実しています。また授業では先生が熱心に教えてくださり、理解が深まります。先生が話してくれた内容で、印象に残っているのは「過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」ことです。この言葉のおかげで、何事も前向きにとらえられるようになりました。学校生活では、積極的に先生に質問し、疑問点をなくすよう心がけています。また、日頃の小テストで満点をとれるよう、一つひとつの授業を大切にしています。好きな教科は理科です。とても興味深く、今後にもつながるので力を入れて学んでいます。将来の夢は、化学分野の研究者になること。新素材の発見などにに関わり、人の役に立ちたいと思います。

中・高6年一貫コース
中1 梶原 悠花さん

御坊市立
湯川小学校出身



編入コース

〔募集人員〕 1クラス 45名

□ 特長 01

**1年間でほぼ2年間分を学習し
6年一貫コースと合流。**

中・高6年一貫コースの学習進度が1年分先行していることから、編入コースの生徒は、最初の1年ではほぼ2年間分の教科内容を学習します。無理なく円滑に6年一貫教育コースの学習進度に合流できるよう計画的にカリキュラムを編成し、教科内容の精選と授業の効率化にも配慮しています。

□ 特長 02

**高校2年次から文系・理系に
分かれ、最終学年では演習中心
で応用力を養う。**

編入コースでは柔軟なカリキュラムを通して、文系志望者は高校2年次に、理系志望者は高校3年次に中・高6年一貫コースの生徒と合流します。最終学年では大学入試に備えて演習を中心に授業を行い、応用力の養成に集中します。

**先生の熱心な指導のもと、難関
国公立大学合格をめざしています。**

大学入試対策に十分な時間を割けることに魅力を感じ、このコースに入学しました。先生方は熱意にあふれており、遅くまで教室に残って質問に答えてくださることもあります。特に興味深いと感じる教科は数学で、難易度の高い問題を解けた時の喜びは格別です。たとえ解けなくても先生が丁寧に解説してくださるので、きちんと知識を身につけたうえで次のステップに進めます。その他の教科もおろそかにすることなく、苦手教科をつくらないことが大切だと思っています。このコースは授業スピードが速いので、できるだけつまづかないように、つまづいてもすぐに追いつくように心がけています。目標は難関国公立大学の現役合格です。「やろうと思えばできる。できないことはないはずだ」という宗祖様の言葉を心の支えに、着実に力を伸ばしていきたいと思っています。

編入コース
中4(高1) 亀嶋 柊斗さん

和歌山大学教育学部
附属中学校出身



2つのコース

中学校からの中・高6年一貫コースは、早期から大学入試を見据え、効率的なスケジュールで学びます。このメリットを、高校からの編入コースでも生かします。いずれのコースも、難関大学に合格できる実力を養うことが目標です。

中・高6年一貫コース

可能性を最大限に引き出し、望みうる最高の大学をめざす。

中学内容は中2までで終了。中3からは高校内容を取り入れ、高2までで高校内容を終了。高3では、大学入試問題の演習に全力で取り組みます。切磋琢磨しあえる素晴らしい仲間と共に頑張りましょう。

中学校長 鳥居 裕史



中1

中2

中3

中4(高1)

中5(高2)

中6(高3)

中学課程 一期
(基礎力養成をめざす)

高校課程 二期
(実力養成をめざす)

三期
(応用力養成をめざす)



6カ年の前期にあたり、中3段階の基礎学力の養成、学習姿勢・学習方法の確立をめざし、総合的思考力の基礎作りとしての訓練を行います。

この時期は心身ともに大きく成長する段階です。基礎固めと実力の養成をめざします。

6カ年の総まとめの時期として、総合的な実力の養成を図ります。また、多様化する大学の二次試験などを考慮し、各自の目的に合った合理的な学習と応用力の養成をめざします。

学年末には高野山合宿があります。家庭学習を含めた、予習→授業→復習の学習サイクルを見直します。

高校課程を取り入れ、中学課程を拡張させることで、合理的で効率的な学習が可能となります。夏には東京大学見学を実施。大学進学がより身近な目標になります。

文系理系に分かれて、それぞれが必要な選択科目を履修します。効果的で深みのある学習により、応用力を養います。

全科目、大学受験に向けての演習を行います。「早朝センター演習」「直前センター演習」により、センター試験対策にも力を入れます。夏期講習、直前二次対策で実戦力を身に付けます。

週あたり授業時間数

●中学校 [60分授業]

学年 \ 教科	国語	数学	英語	理科	社会	他	計
1	6	6	6	5	3	8	34
2	6	6	7	5	3	7	34
3	6	6	7	3	5	7	34

●高校 [60分授業]

学年 \ 教科	国語	数学	英語	理科	社会	他	計
1	6	6	6	5	4	7	34
2	文	6	6	4	8	4	34
	理	6	8	6	10	4	38
3	文	6	6	7	4	8	34
	理	6	7	6	8	4	34

※小論文対策、リスニング対策、自由英作文対策の授業に加え、文系では社会科2次対策演習を追加し、受講できます。

文系
合流

編入コースの文系は、中5(高2)から中・高6年一貫コース(文系)に合流

理系
合流

編入コースの理系は、中6(高3)から中・高6年一貫コース(理系)に合流

編入コース

高校からの課程に6年一貫コースのメリットを生かす。

公立中学から本校中・高6年一貫コースに編入するには、進度調整が必要です。高2または高3で無理なく円滑に合流できるよう、計画的にカリキュラムを編成し、教科内容の精選と授業の効率化にも配慮しています。編入コース入学者には、入学前の3月末から補習授業を行います。

●高校 [60分授業]

学年 \ 教科	国語	数学	英語	理科	社会	他	計
1	7	9	8	6	3	6	39
2	文	6	10	6	4	8	39
	理	6	8	6	10	4	39
3	文	6	6	7	4	8	34
	理	6	7	6	8	4	34

※小論文対策、リスニング対策、自由英作文対策の授業に加え、文系では社会科2次対策演習を追加し、受講できます。

コース紹介Ⅱ

スポーツコース

〔募集人員〕 1クラス 10名

たゆまぬ努力の大切さと偉大さ、そして感動を。

野球に対して高い技術と情熱を有する精鋭が集い、さらに高度なレベルアップを図り、春・夏の甲子園出場をめざすコースです。試合で勝つには、徹底的に基礎練習を繰り返すことが求められます。こうした、たゆまぬ努力が大きな成果に結びつくと考えています。



〔野球部〕（昭和54年7月和歌山県高野連加盟）

選抜高校 野球大会 甲子園出場	昭和 60年 3月	第57回	初優勝 準優勝 準優勝	平成 22年 3月	第82回	優勝
	平成 6年 3月	第66回		平成 23年 3月	第83回	
	平成 8年 3月	第68回		平成 26年 3月	第86回	
	平成 12年 3月	第72回				
	平成 14年 3月	第74回				
	平成 15年 3月	第75回				
	平成 18年 3月	第78回				
	平成 20年 3月	第80回				

全国高校野球 選手権大会 甲子園出場	昭和 62年 8月	第69回	初優勝	平成 15年 8月	第85回	優勝
	平成 元年 8月	第71回		平成 17年 8月	第87回	
	平成 3年 8月	第73回		平成 18年 8月	第88回	
	平成 4年 8月	第74回		平成 19年 8月	第89回	
	平成 5年 8月	第75回		平成 20年 8月	第90回	
	平成 8年 8月	第78回		平成 21年 8月	第91回	
	平成 9年 8月	第79回		平成 22年 8月	第92回	
	平成 10年 8月	第80回		平成 23年 8月	第93回	
	平成 11年 8月	第81回		平成 24年 8月	第94回	
	平成 12年 8月	第82回	優勝	平成 27年 8月	第97回	
	平成 14年 8月	第84回	準優勝			



智辯学園を誇りに思い自他愛を育む。



甲子園で一体感に包まれる全校応援

選抜高校野球大会と全国高校野球選手権大会、その予選も含めた試合の応援に、全校生徒が参加します。プラスバンド部が奏でるメロディーに合わせて力いっぱい応援すれば、選手たちと心でつながり、「智辯ファミリー」としての一体感を感じられるでしょう。

応援練習で手応えを得る達成感。

応援団とチアリーダーは高等学校の生徒で結成され、各大会の1ヶ月前から本格的な練習をはじめます。当初は振り付けもどこちないですが、練習を重ねていくと徐々に上達していきます。全員が心を一つにし、素晴らしい全校応援を引き出した時の達成感は、何ものにも代えられません。



全校生徒を率いる責任を、誇りに感じています。

中学校に入学し、応援団が全校生徒を先導して応援する姿に感動して、入団を決意しました。応援団長として、団員・チアガール・プラスバンド部と連携を取り合い、全校生徒約1500人を率いて、選手たちにエールを送ることに責任と誇りを感じています。スポーツコースの生徒とは、日頃から勉強・スポーツの両面で互いに切磋琢磨し、試合前には対面してエールを送るなど、精神的なつながりは強いものがあります。応援団では、礼儀、先輩や後輩との絆、リーダーシップといった他の場所では決して学ぶことのできないものを得ることができました。今後は、それらの経験を自分の糧とし、将来の目標に進んでいきたいと思っています。

中・高6年一貫コース
中5（高2） 百名 孝太さん
智辯学園和歌山小学校出身



クラブ | Club Activities | スポーツや文化活動を通じて人間関係を築く。

体育部 (中学校のみ)

サッカー／バレーボール／
陸上競技／卓球／
バスケット／テニス／
剣道／少林寺拳法



文化部

新聞／ブラスバンド／美術／
演劇／天文／放送／茶華道／
写真／ESS／生物／書道／
コンピュータ／箏曲／
囲碁将棋／歴史／合唱／
科学／競技かるた



NEWS

編入コースにおいて、
2017年4月
陸上競技部が始動！

駅伝を中心に全国レベルをめざし、
男女ともに新設。



生徒の一日 | One Day | 一日が心身ともにリフレッシュするさまざまな行い。



8:25～

読書時間

興味・関心のある分野の書籍を読み、
幅広い教養を身に付けます。



8:35～

読経

始業前の読経で心を静め、決意を
新たに1日のスタートをきります。



11:55～12:30

昼休み

お弁当を食べたり、友人たちと
談笑するなど、楽しい時間です。



15:50～

放課後

クラブ活動や補習授業の時間です。
図書館の自習スペースで、受験勉強や
予復習に取り組む生徒もいます。

校時表 [60分授業]

読書	8:25～8:35
1限目	8:35～9:35
2限目	9:45～10:45
3限目	10:55～11:55
昼食	11:55～12:30
4限目	12:30～13:30
5限目	13:40～14:40
6限目	14:50～15:50
7限目	16:00～17:00

キャンパスカレンダー | Campus Calendar | さまざまな学校行事で人間性を磨く。

4 April

- 入学式、始業式
- 新入生オリエンテーション (新入生)
- 錬成会 (高1)
- 韓国修学旅行 (高2)
- 身体測定

5 May

- 母校訪問 (新入生)
- 内科検診
- 中間考査
- 育友会総会
- 球技大会

6 June

- 学園創立記念日
- 歯科検診
- 音楽鑑賞会

7 July

- 学期末考査
- 林間、臨海学校 (中学)
- 三者面談
- 留学生来校 (米国)
- 高校野球応援

8 August

- 留学生来校 (韓国)
- 終業式
- 東大見学 (中3)
- 貝塚合宿 (中2)

9 September

- 始業式
- 入試説明会
- 体育大会
- 地区懇談会
- 留学生来校 (オーストラリア)
- 実力テスト

10 October

- 入試説明会
- 中間考査
- 文化祭
- 教育講演会
- 進学指導会

11 November

- 実力テスト
- 卒業記念陶板作成

12 December

- 学期末考査
- 三者面談
- 終業式

1 January

- 始業式
- 入学試験 (中学)
- センター試験
- 卒業式 (高校)

2 February

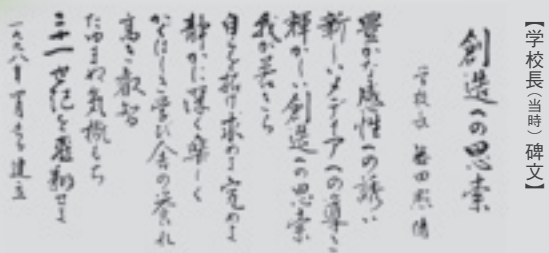
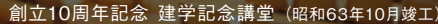
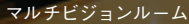
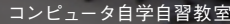
- 入学試験 (高校)
- 私立大学入試
- 国・公立大学二次試験

3 March

- アメリカ短期留学 (高1)
- オーストラリア短期留学 (高1)
- 学年末考査
- 三者面談
- 終業式
- 高野山合宿 (中1)
- 卒業式 (中学)

スクールガイド

Facilities



About Chiben Gakuen

学園の誕生

智辯学園和歌山中学・高等学校は、和歌山県当局の強い要請と藤田照清大僧正の私学教育に懸ける熱意とが醸成し、昭和53年4月に開校しました。設立母体は智辯学園中学・高等学校であり、「誠実・明朗」を教育目標とし、持てる能力の最大開発と、人や物を大切にする心、感謝の心、使命感に燃える人間の育成をめざしています。和歌山県が本学園を招致した所以は、本学園玄関壁の碑文「知事招請の辞」に明記されています。本学園は、設立母体の建学の精神を継承し、さらに大きな前進と発展を使命とします。



沿革

昭和53年	1月	第一回入学試験実施（於和歌山大学教育学部校舎）
	4月	第一回入学式（於海南市立体育館） 中学82名、高校146名入学
	11月	校舎第二期工事竣工
昭和54年	5月	体育館竣工
	6月	竣工記念式典
昭和56年	2月	高等学校第一回卒業式
昭和57年	2月	校歌制定 （作詞 藤田照清校長 作曲 末吉保雄 桐朋大学教授）
昭和59年	2月	6年一貫教育課程第一回卒業式
昭和60年	4月	編入コース設置
昭和62年	4月	国際コース設置
昭和63年	1月	藤田照清第二代理事長就任、校長兼務
	10月	創立十周年記念式典並建学記念講堂竣工式
平成元年	11月	野球専用グラウンド竣工
平成 4年	4月	新制服制定
	7月	冷暖房設置（全館）
平成 6年	4月	第66回選抜高校野球大会初優勝
平成 8年	4月	第68回選抜高校野球大会準優勝
平成 9年	8月	第79回全国高等学校野球選手権大会初優勝
平成10年	4月	創立二十周年記念式典並記念図書館竣工式
平成12年	4月	藤田清司第二代校長就任
	4月	第72回選抜高校野球大会準優勝
	8月	第72回全国高等学校野球選手権大会優勝
平成13年	4月	国際コースをINCに名称変更
平成14年	4月	智辯学園和歌山小学校、第一回入学式 80名入学
	8月	第84回全国高等学校野球選手権大会準優勝
平成19年	5月	創立三十周年記念体育館改築
平成21年	12月	藤田清司第三代理事長就任、学校長兼務

校歌

作詞 藤田照清
作曲 末吉保雄

ここの南海の	いにしへの	古代人の	尊女の遺志	創建し	真理の	昔いろいろ映え	その	聳えたるこそ
		みよ	みね		まこと	は		
神撫台	跡聖く	継承ぎて	のり	法の城	揺ぎなく	は	誇りなれ	
しんぶだい	うけつ	つ	しろ	しろ	ゆる	は		

永に栄光あれ 智辯学園
おお吾等が和歌山高校

黒潮かをり くしほかをり	風潔き はやく
自然の愛撫に しぜんのあいぶに	育まれ はぐくまれ
英氣のみなぎる えいきのみなぎる	青春を せいしゅんを
一途 希望に いちず けいぼうに	傾倒けて かたいた
実力 培ひ じつりき つちかひ	豊饒なる ゆたかなる
稔りの将来に みのり の あすに	備へなむ そなへなむ

永に栄光あれ 智辯学園
おお吾等われらが和歌山高校

生石山並み
指呼の間に
いま創造の
われら母校の
校風けだかく
使命を双肩に
永に栄光あれ
お吾等が和歌山高校

片男波
望みつつ
意気に炎え
名を高め
飾るべき
いざ往かむ

智辯学園

学校法人 智辯学園



奈良県五條市野原中4-1-51
Tel.0747-22-3191



和歌山県和歌山市冬野2066-1
Tel.073-479-2811



奈良県香芝市田尻265
Tel.0745-79-1111



和歌山県和歌山市冬野2066-1
Tel.073-479-1200

Information

インフォメーション

平成30年度入試 説明会日程表	平成29年	9 / 5 (火)	10:30~	ホテルグランヴィア和歌山 (私塾対象)
		9 / 16 (土)	10:00~	泉の森ホール (泉佐野市)
		9 / 30 (土)	10:00~	有田市文化福祉センター (有田市)
		9 / 30 (土)	10:00~	御坊商工会議所 (御坊市)
		10 / 7 (土)	10:00~	ガーデンホテルハナヨ (田辺市)
		10 / 7 (土)	10:00~	ホテルいとう (岩出市)
		10 / 28 (土)	13:00~	本校 (和歌山市)

平成29年度 学校見学会日程表	平成29年	4 / 29 (土)	13:00~	〈小学生対象〉
		8 / 26 (土)	13:00~	〈中学生対象〉

平成29年度入試 実施日・募集人員

● 中学校

	前期入試	後期入試
実施日	平成29年1月14日 (土)	平成29年1月17日 (火)
募集人員	100名	35名

● 高等学校 編入コース

	併 願	専 願
実施日	平成29年1月29日 (日)	
募集人員	45名 (専願・併願)	

平成29年度 出身地域別生徒数

地域 学年	和歌山市	海南市 海草郡	紀の川市 岩出市	橋本市 伊都郡	有田市 有田郡	御坊市 日高郡	田辺市 西牟婁郡	新宮市 東牟婁郡	大阪府	その他	合 計
中学1年	114	17	26	0	12	7	4	0	39	2	221
中学2年	121	15	19	4	12	5	5	0	41	1	223
中学3年	105	16	29	2	6	9	4	2	33	2	208
高校1年	130	31	28	2	20	8	7	0	48	5	279
高校2年	113	22	21	0	18	11	4	1	59	3	252
高校3年	109	16	22	7	18	13	4	1	61	1	252
計	692	117	145	15	86	53	28	4	281	14	1435

Access

始業時間8時35分に間に合う
主要駅の出発時刻の目安

天王寺、堺、橋本、御坊など、関西南エリアの主要都市は通学
圏内にあります。さらに、最寄りのJR黒江駅より徒歩10分の
距離なので、通学の負担が軽く、勉学に集中できます。

